

高川小だより

令和5年(2023年)6月30日

発行者: 校長 寺本 正行

高川小HPは
こちら➡



美しさを身につける

6月1日～2日、6年生が修学旅行に行きました。広島に向かう新幹線内で、6年生は車両の後ろ半分に座っていて前半分には一般の方が乗車していました。途中、乗客の中の女性が、先生に話がしたいと来られました。

その女性は、「トイレに行った時に、小学生が何人もいて通りにくかった。その小学生たちは隣の車両にいた修学旅行生だった。隣の車両では、通路に足を投げ出したり大きな声でしゃべったりしていた。もとの車両に戻ったら、高川小学校の子どもたちが座っていた。修学旅行ではしゃぎたい気持ちがあると思うが、行儀よく座って、騒がしくない程度で会話をしていて、同じ車両にいたけど気付かないほどだった。とても感心した。」とほめてくださいました。

公共の場では、周りの人に迷惑をかけない立ち振る舞いができるようになってほしいものです。6年生は、それをしっかりと自覚し行動することができていたと思います。お互いがとても気持ちよくなる出来事でした。

その女性を話をした後、ふと、「躰(しつけ)」の文字が思い浮かびました。「躰」という漢字は、「身」と「美」という字でできています。礼儀やマナーを身につけること、優しい気持ちを持ち行動ができること、物事にがんばって取り組むことなどは、よりよく生きようという気持ちの表れだと思います。そういう気持ちで生活することで、内面に「美しさ(=優しさ、強さ)」が身につく、その人の行動や言葉にあらわれていくのではないかと思います。



科学の眼

ある児童が、次のような日記を書いていました。

6月16日に1回目のプールがあったけど、(略)。見たかんじは、プールはふかそうにみえなかったけど、すごいふかいからなんでか、ずっと気になってます。以下略。



この日記を読んで、この児童は「いい感性」をもっていると思いました。同じことを感じた人は他にもいるでしょう。でも、「なんでか、ずっと気になっている」ところがいいと思います。

世界は、「不思議」でみちあふれています。当たり前のように思っていたことも、考えてみれば

「何でだろう?」「不思議だな」と気付くことがたくさんあると思います。気付くと物の見方が変わります。気になったら調べてみるのもいいでしょう。理由がわかったり、説明することができるようになっていくと、物の見方はさらに深みをまします。世界が広がっていきます。

なぜプールは深そうに見えないのか気になった時から、この児童にとっては、プールはそれまでとちがう見え方になっていると思います。この疑問の理由は中学校で学習しますが、その時、この児童はずっと感じてきた疑問と学習内容がつながり、学びがより深いものになり、世界が少し広がっていくのではないのでしょうか。

家庭学習の習慣

授業で学習した内容をしっかりと身につけていくためには、宿題をするだけでなく、短時間でも自分で学習する習慣をつけることが大切です。

私がすすめる家庭学習の方法は、

学校で学習した内容をその日のうちに振り返る

というものです。やり方は、その日に授業で習ったところの教科書を読む、資料やグラフを見る、ノートやプリントを読む、習った漢字を確認するなどです。低学年の人は、家の人にどんな勉強をしてきたかお話しするだけでもいいと思います。もちろん、宿題は最優先ですませます。

この方法のポイントは、**その日の授業の内容を、おおまかでいいから振り返る**ことです。短い時間でかまいません。できる人は、さらに自分でノートにまとめる、調べる、習った漢字を全部覚える、間違えた問題をやり直すなどをしてもいいでしょう。



人は時間がたてば覚えたことを忘れていきます。まずは、学校で学習したことをその日に振り返ります。そして、いい睡眠をとることで学習内容の定着がよくなります。次の日の授業も、前の時間の内容を覚えていることでいい入り方ができると思います。

保護者のみなさま

○6月13日に実施した引き渡し訓練、平日の昼の時間でしたが、本当にたくさんの方のみなさまに参加していただきました。ご家族の方がお子さまの安全に対して高い意識をもっておられることがよくわかりました。ご協力ありがとうございます。

○7月に入り、個人懇談が始まります。お子さまが学校や家庭でがんばっているようすや、これからの目標などについて共有し、学校と家庭が協力してお子さまの成長を支えていくお話しができればと考えています。短時間ではありますがよろしく願いいたします。

○6月中旬以降、体調をくずしている児童の数が増えています。蒸し暑くなってきましたので、体調管理に気をつけていただきますようお願いいたします。